

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 世田谷区立駒沢中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 154-0012
世田谷区駒沢2-39-25

E-mail : dai105@setagaya.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 216 名 女子 177 名 合計 393 名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (キャリア学習)

4. 活動内容

1 国際理解教育

中国とインドネシアからの留学生が来航し、母国の紹介や日本との文化の違いなどを中心とした授業を行ってくれました。生徒たちは世界の広さを学び、さらに、グローバルな視野でものごとを考えていく大切さを学習しました。また、モンゴルからは教育委員会の先生方が視察に来て、本国との教育活動の違いなどについて教員と意見交流を行いました。



2 伝統文化・食育・世界遺産

教科「日本語」の授業で、3年生は「食べる」「着る」「楽しむ」「住む」「作る」の項目に分け日本の伝統文化を学習しました。その「食べる」の中で、日本の食文化から「食育」についての知識も身につけました。また、「給食だより」を中心に全校で食について関心を高めました。1年生は河口湖移動教室での取り組みにより、富士山を中心に世界遺産についての学習を深めました。



3 人権教育

性的マイノリティに関する授業、障害理解授業、デートDVについての授業や命の授業（性教育）等の人権にかかわる授業を行いました。生徒たちは生きることや性について学ぶことを通して、人権について深く考えました。また、人権についての作文に取り組むことで、生徒たちの人権に対する意識がいっそう深まりました。



4 環境教育

昨年、本校にある「タンチ山」という木々が生い茂っている場所に遊歩道をつくり、今年度も生徒や地域の方々がいつでも自然に触れることができるようにしました。また、校庭の一部に設置した芝生や緑のカーテンにより、生徒たちの生活の中で自然とふれあう機会が多くなりました。本校のJRC（ボランティア）部が町会の方々と一緒に地域の公園の清掃を行いました。



5 エネルギー教育

資源や環境、エネルギーについて学習し、グループで話し合い、その結果を発表しました。限られた資源をどう大切にしていけるか、新しいエネルギーの開発や活用についてなど様々な意見がでました。エネルギーについて深く考えることができました。



6 防災教育

全校生徒と保護者、地域の方々が参加して合同防災訓練を行いました。この訓練を通して、生徒は、自分たちの住む地域の防災に関する準備の実態を理解し、地域防災の意義について考え、防災に対する意識を高めることができました。また、地域の方々と協力して活動する場面を設定することで、地域の中で生活していることを自覚し、地域を大切にしている心をはぐくむことができました。また、防災塾へ参加し校内の防災意識を高めることができました。



7 キャリア教育

キャリア学習や大学体験入学、職業学習を通して生徒たちが将来について学び、考えることができました。持続可能な社会の実現を目指して、地球市民として自分たちがどのようなキャリアを進むのかを深く考えることができました。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)